令和8年度予算概算要求における宇宙関係予算

令和8年度予算概算要求

■当初予算■基金関係執行予定額

5,932億円(+事項要求)

(令和 7 年度当初予算 (令和 7 年度当初予算+令和 6 年度補正予算等 4,160億円) 9,365億円)

(単位:億円) 10000 9,365 8,945 R8年度概算要求: 5,932+事項要求 8000 事項要求 4761 4609 宇宙戦略基金 6000 宇宙戦略基金 3,000 3,000 4000 5932 4160 4030 2000 445 436 307 R8 R6 R7

| 府省名 | ☆左座 ₹1 | | | R8要求 | | |
|----------|---------------|-------|-------|-----------------|-------|-------|
| | 前年度計 | R6補正 | R7当初 | R7基金関係 執行予定額 | | 対前年当初 |
| 1. 内閣官房 | 947 | 325 | 622 | ı | 747 | + 20% |
| 2. 内閣府 | 394 | 188 | 206 | - | 316 | + 53% |
| 3. 警察庁 | 9 | 0 | 9 | ı | 9 | + 1% |
| 4. 総務省 | 644 | 550 | 94 | - | 115 | + 23% |
| 5. 外務省 | 3 | 0 | 3 | - | 3 | + 14% |
| 6. 文部科学省 | 3,824 | 2,153 | 1,516 | 156 | 2,030 | + 34% |
| 7. 農林水産省 | 74 | 29 | 45 | - | 89 | + 97% |
| 8. 経済産業省 | 1,362 | 1,000 | 73 | 289 | 71 | - 3% |
| 9. 国土交通省 | 688 | 479 | 208 | - | 194 | - 7% |
| 10. 環境省 | 54 | 0 | 54 | _ | 59 | + 10% |
| 11. 防衛省 | 1,366 | 37 | 1,329 | _ | 2,299 | + 73% |
| 合計 | 9,365 | 4,761 | 4,160 | 445 | 5,932 | + 43% |

- ※四捨五入の関係で合計額は必ずしも一致しない。
- ※「基金関係執行予定額」として、経済安全保障重要技術育成プログラム(Kプロ)及び SBIRフェーズ3基金のうち宇宙関係のテーマを集計している。 (R7執行予定額:445億円、R8執行予定額:436億円)

主な予算項目(各府省別)

全府省庁合計: 5,932 億円(+事項要求)

※ 各金額は四捨五入によって算出 【内閣官房】 747億円 【農林水産省】 89億円 情報収集衛星の開発・運用 747億円 ● スマート農業技術の開発・供給促進事業 46億円 【内閣府】 3 1 6 億円 (+事項要求) 【経済産業省】 7 1 億円 準天頂衛星システムの開発・整備・運用 241億円(+事項要求) 2億円 宇宙産業技術情報基盤整備研究開発事業 宇宙開発利用推進費 4 1 億円 中央防災無線網の運用等 ※この他、令和8年度執行予定額としてKプロ(166億円) 6億円 及びSBIRフェーズ3基金(91億円) 合計257億円 5億円 衛星データ等を活用した海洋AI分析 9 億円 【警察庁】 【国土交通省】 194億円(+事項要求) 高解像度衛星画像解析システムの運用等 9 億円 119億円 無操縦者航空機の運用等 【総務省】 115億円(+事項要求) 27億円(+事項要求) 人工衛星の測量分野への利活用 ● 自律性確保に向けた低軌道衛星インフラ整備事業 事項要求 25億円 静止気象衛星ひまわりの運用等 次期静止気象衛星に搭載する宇宙環境計測装置の開発 4億円 次期静止気象衛星の整備 事項要求 10Gbps級の高速光通信技術の開発 320億円の内数 【外務省】 3 億円 【環境省】 59億円 ● 衛星画像判読分析支援、宇宙分野の外交政策の推進 3億円 ● GOSATシリーズによる地球環境観測事業等 4 1 億円 【文部科学省】 2.030億円(+事項要求) 113億円 (+事項要求)【防衛省】 ※令和8年度歳出予定額を記載 2,299億円 基幹ロケットの開発・高度化、打上げ高頻度化 将来宇宙輸送システムに向けた研究開発 4 2 億円 ● 衛星コンステレーションの構築 50億円 次期防衛通信衛星の整備等 官民連携光学ミッションの開発 26億円 次世代防衛技術実証衛星の開発 2 4 億円 衛星地球観測重点テーマのプログラム推進 241億円 RAMSES(プラネタリーディフェンスのための小惑星探査) 48億円 画像解析用データの取得 348億円(+事項要求) アルテミス計画に向けた研究開発等 ※内閣府・総務省・文部科学省・経済産業省の4府省で、 うち有人与圧ローバ開発 37億円(+事項要求) 宇宙戦略基金の拡充に向けた要求 88億円 合計63億円+事項要求 うち新型国際宇宙ステーション補給機 (HTV-X)

180億円

※この他、令和8年度執行予定額としてKプロ(49億円) 及びSBIRフェーズ3基金(131億円) 合計180億円

うち火星衛星探査計画 (MMX)